

# 第53回公的扶助研究全国セミナー

オンライン

～福岡と各地を結んで～（仮称）

November. 2021

6 / 7 / 13 / 20 / 21

## 参加費

会員・学生

5,000 円

一般

10,000 円

申込方法・支払方法・参加方法など

詳細は7月中にホームページにアップ

参加者限定！全講座のアーカイブを配信予定！

※ディスカッションやグループワークなど一部除く

## スケジュール

	10:00-12:00	13:00-15:00	15:30-17:30
11/6 土	分科会1 政策動向	分科会2 生活困窮者支援	分科会3 初級学校
11/7 日	分科会4 漫画から学ぶ	分科会5 外部委託問題	分科会6 小規模福祉事務所
11/13 土	分科会7 ケースワーク・支援の展開	分科会8 生活保護手帳の読み方・使い方	分科会9 福祉専門職
11/20 土		全体会 「医療と社会福祉の連携 — 健康問題を軸に貧困問題を考える」	
11/21 日	分科会10 子ども・若者支援	分科会11 高齢期の貧困	分科会12 依存症者支援

# 全体会 11月20日 13:00-17:00

基調講演・講師 舟越 光彦さん (公社)福岡医療団 理事長  
千鳥橋病院 予防医学科長  
シンポジウム座長 池田 和彦さん 筑紫女学園大学  
シンポジスト 梶平 幸子さん (医)広仁会広瀬病院  
医療ソーシャルワーカー  
シンポジスト 永田 知美さん 太宰府市社会福祉協議会地域福祉課  
生活支援コーディネーター  
シンポジスト 衛藤 晃さん 全国公的扶助研究会副会長  
神戸市垂水福祉事務所

## 「医療と社会福祉の連携 — 健康問題を軸に貧困問題を考える」

基調講演において社会医学の観点から医療と社会福祉の連携について  
問題提起を行うとともに、シンポジウムでは社会福祉の諸領域で活躍する  
ソーシャルワーカーからの実践報告を受け、課題への検討を深めていきます。

### 分科会 1 政策動向 11月6日 10:00-12:00

#### 日本の社会保障、生活保護の到達点と課題を考える

日本の社会保障、生活保護の到達点と課題、展望を、社会保障や  
生活保護の運用や基準をめぐる政策動向や諸裁判例、また今年度  
扶養照会の運用緩和などを手掛かりに検討します。

講師 尾藤 廣喜さん 中村 健さん  
弁護士(鴨川法律事務所) 新潟大学

### 分科会 2 生活困窮者支援 11月6日 13:00-15:00

#### 生活困窮者支援分科会～支援の在るべきかたちを考える～

コロナ禍以降、国は特例貸付と住居確保給付金を支援の中心に  
位置付けてきました。また、支給事務を担う社協や自立相談支援機関が  
本来の支援ができていない現状も浮き彫りになっています。本分科会では、  
これまでの現状や課題を整理し、あるべき支援のかたちを議論します。

助言者 布川日佐史さん コーディネーター 仲野浩司郎さん  
法政大学 羽曳野市福祉事務所

### 分科会 3 初級学校 11月6日 15:30-17:30

#### 生活保護ケースワーカー入門編 ～ケースワークをともに考える～

本講座では、生活保護制度の正しい理解やケースワークの  
大切さを学ぶと共に、全国のCWとグループワークを  
通して喜びや悩みを共有したいと考えています。

※経験年数1年未満の生活保護CW対象となります。

### 分科会 4 漫画から学ぶ 11月7日 10:00-12:00

#### 漫画『健康で文化的な最低限度の生活』から学ぶ ケースワーク・福祉事務所のあり方

10巻 100万部突破記念企画。「こんな福祉事務所働きたい」。繊細なリアルと  
大胆なフィクションで福祉業界を席卷する漫画。そこにあるのは弱者への視点。  
参加者となり取りながら共に福祉を考える2時間です。

パーソナリティ 横田 敏さん 衛藤 晃さん  
板橋区板橋福祉事務所 神戸市垂水福祉事務所

### 分科会 5 外部委託問題 11月7日 13:00-15:00

#### ケースワークの外部委託化を問う ～生活保護が「福祉」を捨てる時 第2弾～

国は、保護の決定又は実施に関わる生活保護業務の民間事業者への  
外部委託は認められないとしつつも、さらに検討を進めるとしています。  
外部委託で利用者の権利を守り適切な支援はできるのか多角的に検討します。

報告者 吉永純さん パネラー 池谷秀登さん 今井伸さん  
花園大学 立正大学 十文字学園女子大学

### 分科会 6 小規模福祉事務所 11月7日 15:30-17:30

#### 小規模福祉事務所での仕事づくり、職場づくりを考える

業務量の増大と組織的バックアップのなさから、関西の小規模福祉事務所  
でケースワーカーが相次いで事件に巻き込まれました。小規模福祉事務所において  
ケースワーカーが安心して支援を行うための条件を考えます。

助言者 吉永純さん 報告者 小財憲司さん 高野正秀さん 増田康夫さん  
花園大学 弁護士(南彦根法律事務所) 南魚沼市福祉事務所SV 元京都市CW

### 分科会 7 ケースワーク 11月13日 10:00-12:00

#### ケースワーク・支援の展開 ～今こそ原点に立ち返って話をしよう～

コロナ禍においてはケースワークが一層困難でストレスフルな今。  
改めて支援の基本を確認し、ワーカーとしてのエナジーをチャージしましょう。  
現役ケースワーカーだからこそ語れる本音トークによるシンポジウム。

コーディネーター 衛藤 晃さん 神戸市垂水福祉事務所

### 分科会 8 生活保護手帳 11月13日 13:00-15:00

#### 120分でわかる『生活保護手帳の読み方・使い方【第2版】』

公扶研が昨年11月に出した  
『生活保護手帳の読み方・使い方【第2版】』のポイント  
(①コロナ禍、災害時の生活保護運用、②初版後の主な実施要領の改訂、  
③初版後の主な判決、裁決)をわかりやすく解説します。

講師 吉永 純さん 花園大学

### 分科会 9 福祉専門職 11月13日 15:30-17:30

#### 福祉専門職の在り方を考える ～それぞれの実践を通して～

住民の福祉ニーズが多様化・複雑化する中、様々な自治体で  
福祉専門職が採用されています。各自自治体で活躍する  
福祉専門職の方に、実践を通して感じたことを語っていただき、  
一緒に福祉専門職の在り方を考える分科会にしたいと思います。

### 分科会 10 子ども・若者支援 11月21日 10:00-12:00

#### 大人になることへの困難 ～生きづらさを抱えた子ども・若者たち～

困難や“生きづらさ”を抱える子ども・若者と最前線で接している  
実践者からの報告をもとに、今を生きる子ども・若者の実態を知り、  
大人や社会が何をすべきか、何ができるのかを考察する機会とします。

報告者 大西良さん 柴田真生さん 中嶋亮太さん  
筑紫女学園大学 太宰府市SSW 自立援助ホームLEAP

### 分科会 11 高齢期の貧困 11月21日 13:00-15:00

#### 高齢期の貧困問題への社会的対応 ～地域連携の模索とその意義を考える～

全体会を踏まえ、高齢期の貧困問題への社会的対応のあり方をテーマに、  
福岡県内の福祉事務所を対象にした調査結果をはじめ、地域連携に関する  
具体的実践を取り上げ、その活動を通じた課題について検討します。  
さらに地域連携の社会的意義について考える機会とします。

報告者 川崎 孝明さん 納戸 美佐子さん  
筑紫女学園大学 筑紫女学園大学

### 分科会 12 依存症者支援 11月21日 15:30-17:30

#### 依存症者への支援について考える

コロナ禍での失業や生活の変化等のストレスで酒量が増え、  
アルコール依存症のリスクは高まっています。  
周囲を振り回すことも多い否認の病とどう向き合うか、  
アルコール依存を中心に病院のPSWや当事者の方達と考えます。